

# ユビキタス情報社会と安全、防犯

大阪市立大学 大学院創造都市研究科  
都市情報学専攻

教授 中野 潔

kiyoshi@gssc.osaka-cu.ac.jp

「模倣と独創の観点から見た産業史」(単著) 「模倣と創造のダイナミズム」(山田奨治編)収録 勉誠出版 2003年

「サイバージャーナリズム論」(GLOCOMフェロー、前川徹と共著) 東京電機大学出版局 2003年

「情報化白書2003総論 = 社会資産としての情報」(GLOCOM講師、砂田薫と共著) 「情報化白書2003」収録 日本情報処理開発協会 2003年

「知的財産権ビジネス戦略」(単著) オーム社 2001年

# ユビキタス情報社会で可能となる事項を示す概念群 [I]

- (a)「いつでもどこでも」処理
  - (a-1)高性能モバイルコンピュータ、ウェアラブルコンピュータと高速ネットワーク通信
  - (a-2)局地的コンピューティングパワーの自由な利用
  - (a-3)情報家電や家庭用ロボットの汎用情報ツール化
  - (a-4)遠隔のユーザー自身のコンピュータのパワー利用
- (b)「わたしのやつ」呼び出し
  - (b-1)ユーザー固有の情報メディア環境の遍在的呼び出し
  - (b-2)ユーザー固有のエージェントの遍在的呼び出し
- (c)「ここにいるのは、こんな私」通知
  - (c-1)自分の属性情報の局地装置、局地エージェント、ネットワークへの通知
  - (c-2)現在の自分の使用情報環境の局地装置、局地エージェント、ネットワークへの通知

中野潔「ユビキタス」 週刊エコノミスト臨時増刊 2003年4月14日号 p.96、  
週刊エコノミスト臨時増刊 2004年4月12日号 p.110

# ユビキタス情報社会で可能となる事項を示す概念群 [II]

- (d)「ここは、どこ」照会
  - (d-1)モバイルコンピュータのGPS、PHSなどによる位置認識機能高度化
  - (d-2)局地装置(所在表示、状況説明、センサー)との位置情報に関する自由なやりとり
- (e)「あなたは誰、これは何、ここはどう」照会
  - (e-1)情報家電や家庭用ロボットとの識別情報に関する自由なやりとり
  - (e-2)局地装置(所在表示、状況説明、センサー)との識別情報、現在状況に関する自由なやりとり
  - (e-3)製品、部品のRFIDや組み込み近距離無線センサーとの識別情報、現在状況に関する自由なやりとり
- (f)「あれは今どこ」照会
  - (f-1)RFID、組み込み型携帯電話、近距離無線対応センサーなどによる位置把握
  - (f-2)私有の情報家電や家庭用ロボット、家族の情報環境への遠隔アクセスと位置把握
- (g)「あそこは今どう」照会
  - (g-1)RFID、組み込み型携帯電話、近距離無線対応センサーなどによる状況把握
  - (g-2)自宅の情報家電や家庭用ロボット、カメラ、ホームオートメーション制御、家族の情報環境への遠隔アクセスと状況把握

中野潔「ユビキタス」  
週刊エコノミスト臨時増刊

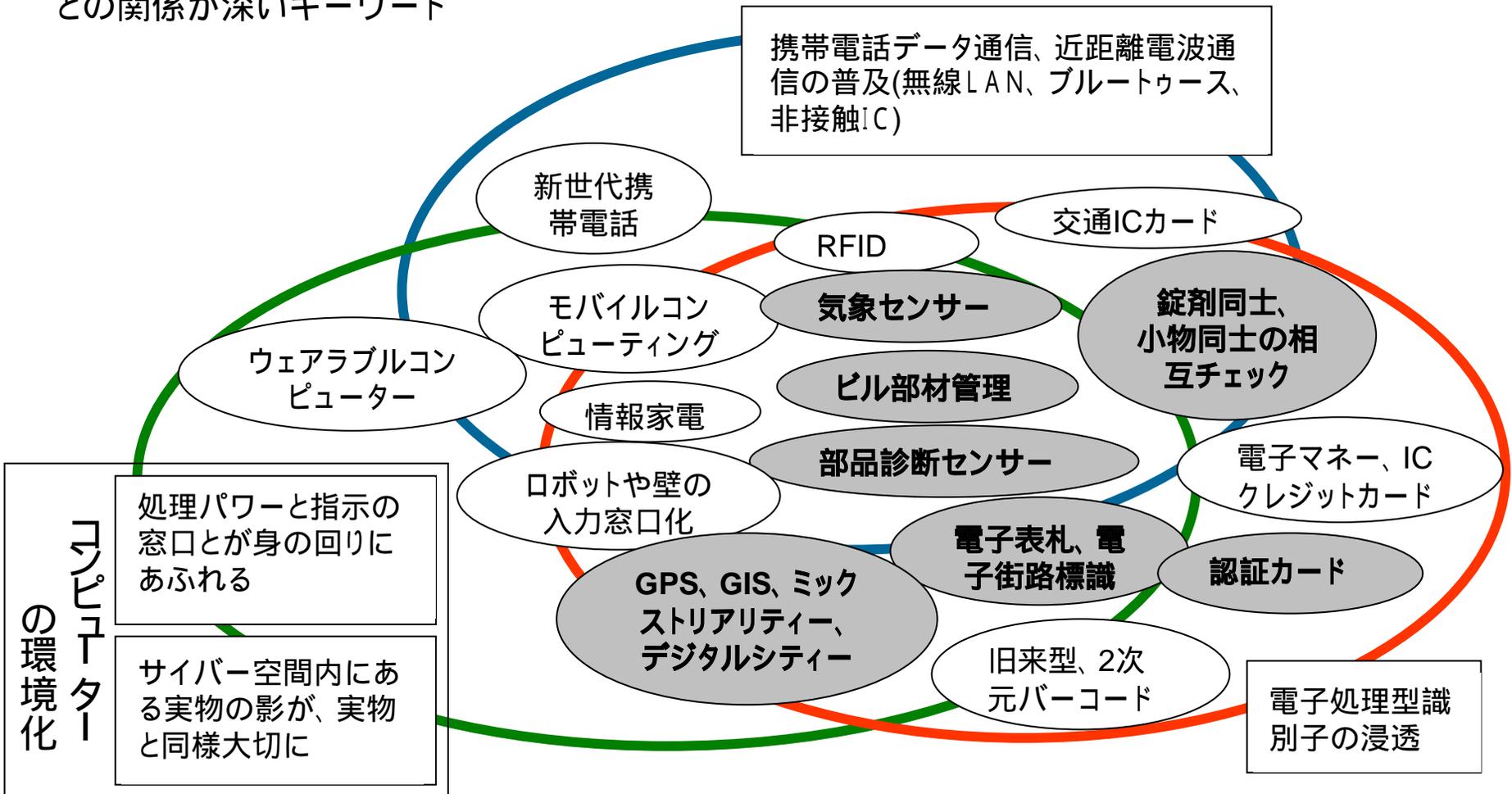
# ユビキタス情報社会の可能事項概念群と安全、防犯

照会などの例	安全、防犯との 関わりの深さ	メリットになるとき	デメリットになるとき
(a)「いつでもどこでも」処理			
(b)「わたしのやつ」呼び出し	*1	緊急通知受け取り	
(c)「ここにいるのは、こんな私」 通知		家族、警備会社な どに通知	悪意を持つ人に所在が 知られる
(d)「ここは、どこ」照会		自分の所在を知る	意図的に虚偽を伝える
(e)「あなたは誰、これは何、こ こはどう」照会		自分の周囲のもの の由来を確認	
(f)「あれは今どこ」照会		所在不明のものを 探す	他人に知られたくないも のの位置が知られる
(g)「あそこは今どう」照会		行くはずの場所の 状況に対処	意図的に虚偽を伝える

\*1:(プル型を想定しているが、プッシュ型なら無線などによる緊急通知になる)

# ユビキタス情報社会のキーワードと安全、防犯

灰色の楕円は、安全、防犯との関係が深いキーワード



# 情報通信技術による安全性確保のメリットとデメリット

## - 解は、完全な開陳と完全な秘匿との間に -

	メリット	デメリット
RFID(ICタグ)による金額計算と非接触ICクレジットカードによる支払い	時間短縮、省力化	プライバシー侵害、データの盗み見の可能性
RFIDなどによる食品のトレーサビリティ確保	食品の由来の確認、問題の起きた食品の追跡	(プライバシー侵害の可能性)
監視カメラ	住民の安全確保、犯罪抑止力	プライバシー侵害の可能性、被監視感によるストレス
住宅明細地図への氏名掲載	宅配、タクシー、消防、救急などでの迅速対応	プライバシー侵害、ストーカー行為などの可能性
高齢者、障害者の地図への掲載	緊急時、被災後の通報、避難の迅速化	重大なプライバシー侵害、犯罪ターゲットの探索容易性助長
高齢者、障害者の所在地図への電話番号や電子メールアドレス掲載	緊急時、被災後の通報、避難の迅速化	重大なプライバシー侵害、犯罪ターゲットの探索容易性助長

完全な開陳も完全な秘匿も現実的ではない。  
個人情報に対する本人の制御権確立へ

<http://it.nikkei.co.jp/it/njh/enq04.cfm?i=20031216tj001tj>

「特集・2004年IT展望 識者に聞く 中野潔 Q2:A2」